測量計算・電子野帳（TS）

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2020/04

Ver3.3.7 で追加、修正された機能を説明します。

・BM 測定機能の追加

１、BM 測定機能の追加

こちらも、要望がありましたので追加しました。
ワンマンで、「後方交会」から観測を始める場合で、更に標高の基準が異なる場合です。
この様なケースが、多いのかなーと、思いながらも作成してみました・・・。
随分前に完成していたのですが、時節柄、時期を逸してしまいました。
新年度に入り、お忙しい事と思いますが、皆様にもおかれましても
くれぐれもご注意ください。

器械点：T3
後視点：T1
BM 点：BM1
とあり、標高を BM1 から逆算で求めたい場合。

後方交会では、
点 A:T1
点 B:T2
求点:T3
で、測定し登録すると T3 の標高は T1 からの逆算値です。

この後、[放射トラ]に移動し、
器械：T3
後視：T1
になっているのを、
後視：BM1
に変更し、[BS]ボタンで測定する事で
T3 の標高を BM1 からの逆算で、登録できます。

再度、
後視：T1
に変更し、T1 を視準して後視観測して新点の測定に進みます。

この手順では、３回の測定が必要でワンマンの場合
移動も、T1→T2→BM1→T1　になります。
これを、簡便にしたいという要望です。

[放射トラ]や[杭打ち]で、既に座標がある場合は

　器械：T3

　後視：BM1

　で測定し、T3 の標高を BM1 からの逆算で、登録。

　後視：T1

　に変更し、T1 を視準し後視観測で標高は登録しない。

２回の測定です。

移動は、BM1→T1

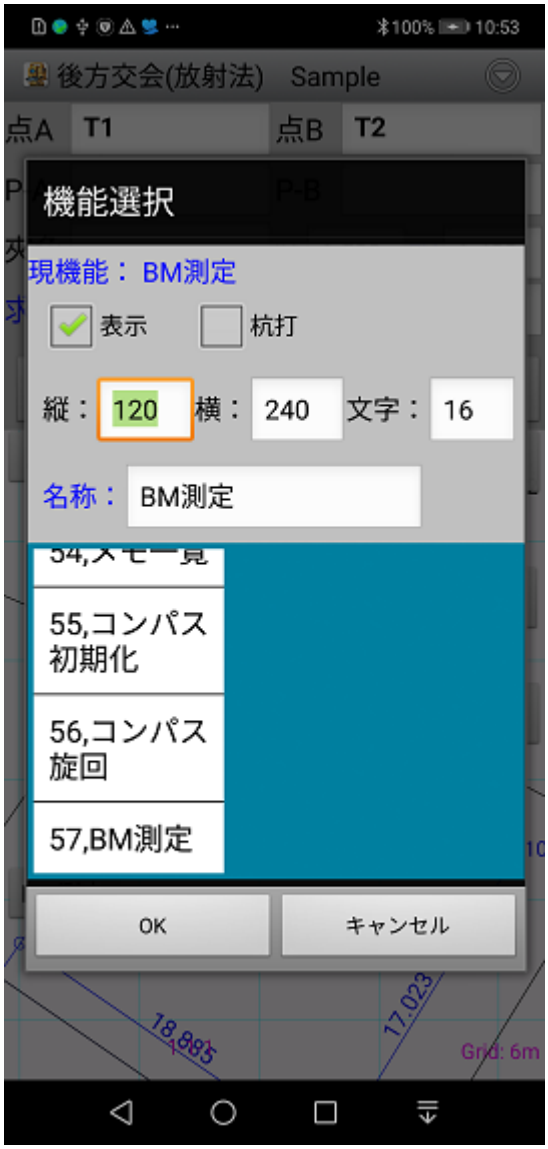
この既に座標がある場合は、必要最低限の観測ですから問題ありません。

後方交会から始める場合は、３回の測定が必要ですし

ワンマンなので T1 に２回移動です。

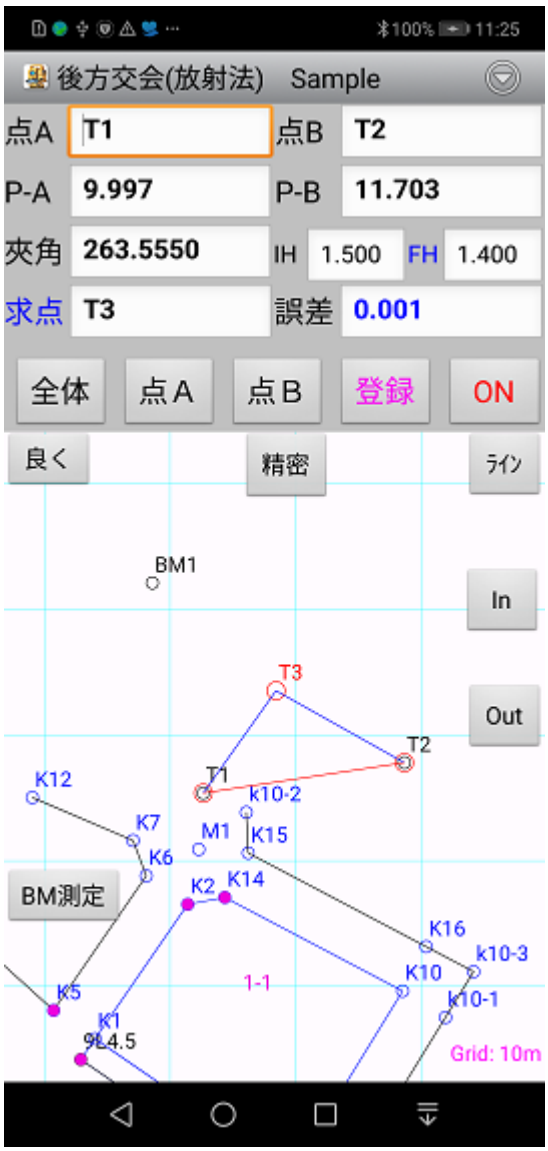
これを、２回の測定と１回の移動にします。

やはり、実現にはマルチボタンです。
マルチボタンに、[BM 測定]を追加して[後方交会(放射法)]でのみ使用可能な機能とします。



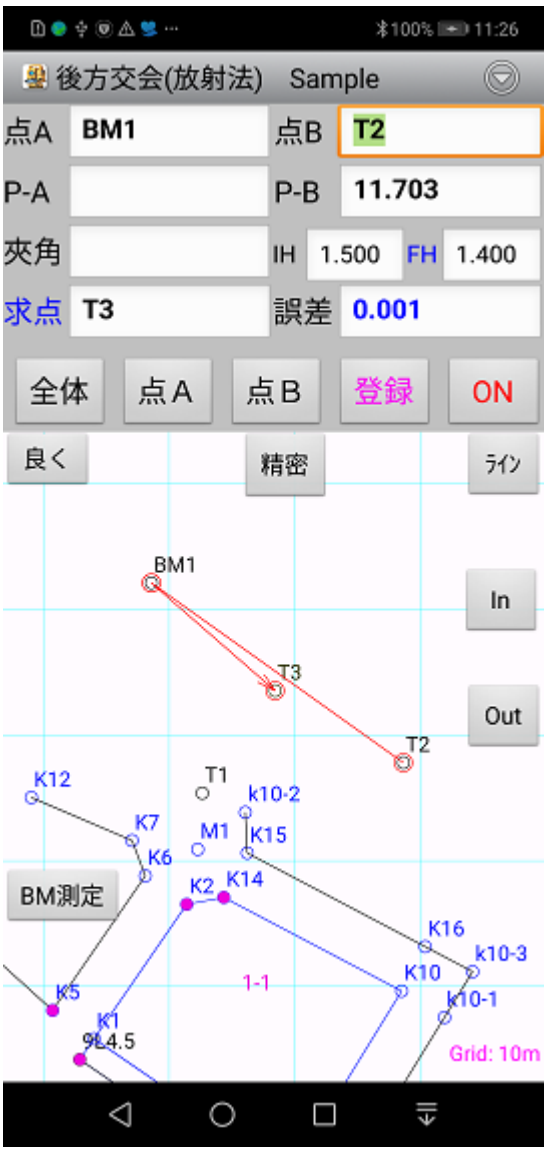
57,BM 測定
を追加しました。
MultiBton.txt　ファイルを更新してください。

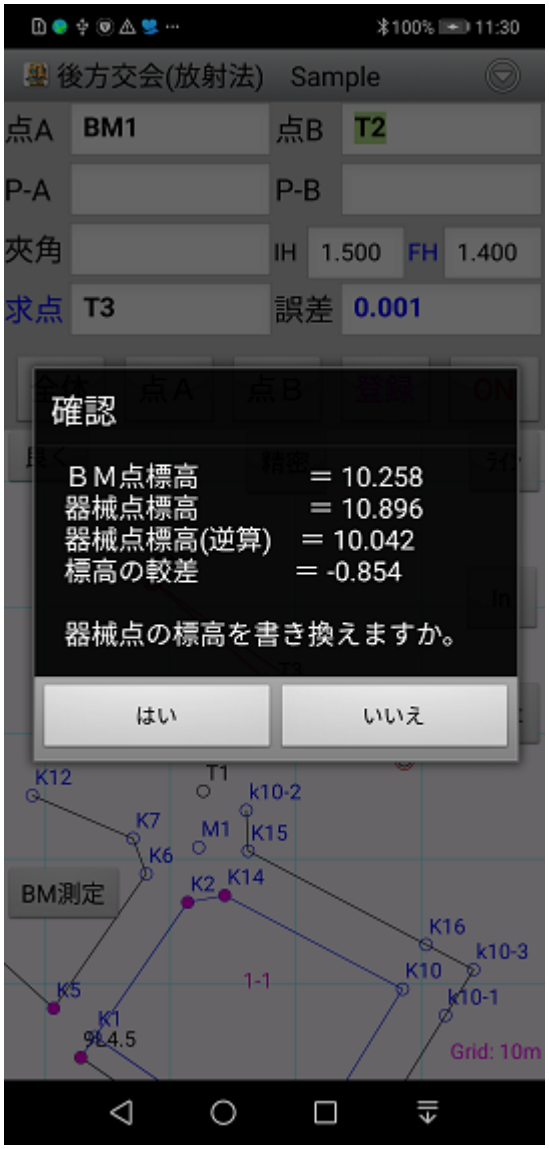
求点:T3 は、既に座標登録されている必要があるので
先に、
点 A:T1
点 B:T2
求点:T3
で、測定し登録します。



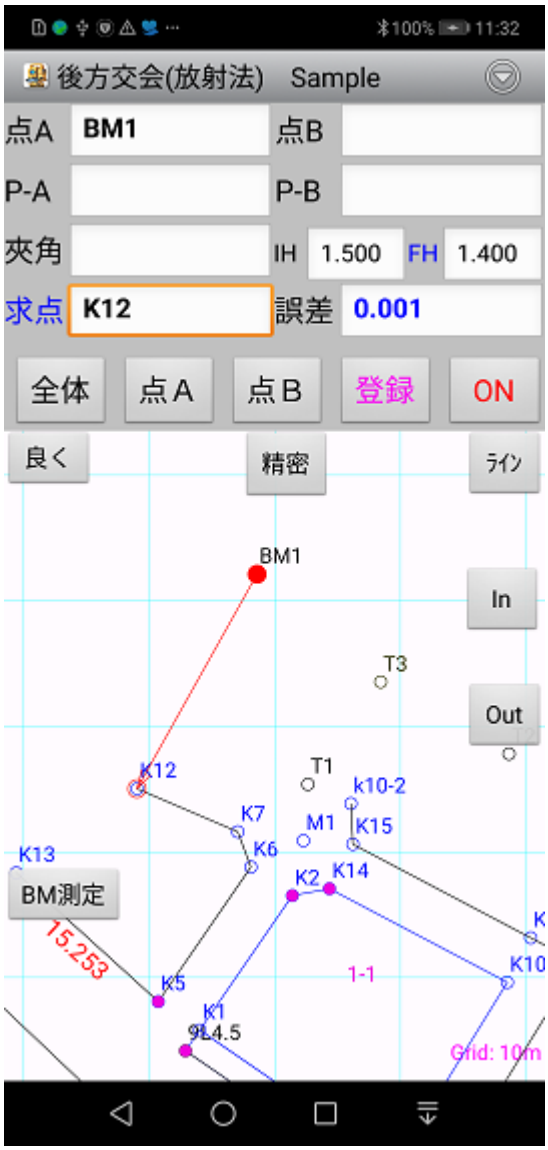
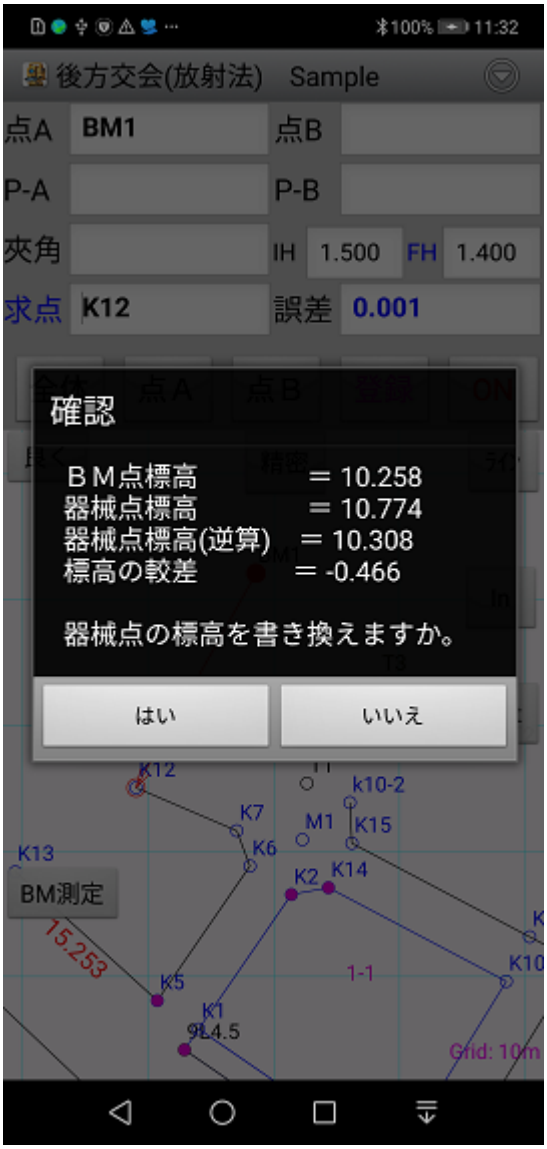
その後、
点 A:BM1　に変更。
求点:T3
IH,FH は正しい値が必要です。

[BM 測定]ボタンを押すと、測定し鉛直角と斜距離、IH,FH から
標高を逆算し、ダイアログを表示します。
ここで、”はい”で、T3 の標高を書き換えます。





“はい”で、T3 の標高を逆算の 10.042 に書き換えます。

記録簿は、下記のようになります。

この[BM 測定]は、他では表示されません。
また、[後方交会(放射法)]で登録した後ではなくても
何時でも、使用できる機能とします。
点 A:BM1
求点:K12
求点は、既存の点をプロット画面から入力可能です。
標高だけを逆算で測定、登録できる機能になります。